



2年生と3年生の今 ～新しい学習スタイルで、すくすく成長中！～

大成功に終わった運動会。熱い余韻を残しつつも、6月に入り、子どもたちは気持ちを切り替えて、しっかり「勉強モード」に入っています。今回は、今年度から新しい形でのスタートを切った、2年生と3年生の子どもたちの日常をお伝えします。

今年度から東大淀小学校では、2年生と3年生が同じ教室で学ぶ「複式学級」となりました。当初は一人の教師が2つの学年を交互に教える「わたり」という授業スタイルも想定していましたが、現在は教育委員会からの加配（追加の教員配置）をいただくことで、それぞれの学年に教員がつき、別々にきめ細かく指導できる環境を整えています。子どもたちの成長や教科の特性に合わせて、柔軟に学び方を工夫しています。



- 【国語や算数など】 系統的な理解が大切な教科は、別々の教員がそれぞれの学年に寄り添い、じっくりと教えています。
- 【学級活動（学活）】 2・3年生がひとつの集団として、いっしょになって協力しながら活動しています。
- 【体育や図工など】 学習内容が似ている教科は、2年生は1年生と、3年生は4年生といっしょにダイナミックに学んでいます。

2・3年生担任の先生へインタビュー！

日々いろいろな教室へ移動したり、異なる学年の友達と関わったりするこのスタイル。「子どもたちは混乱しないかな？」と最初は少し心配もありましたが、子どもたちの適応力は素晴らしく、今ではすっかりこの形に馴染んでいます。そんな2・3年生の様子やがんばりについて、担任の先生にインタビューしてみました。

Q：2・3年生が同じ教室で過ごすようになり、変化はありましたか？

A：最初は緊張していましたが、一緒に過ごすうちにすっかり馴染んできました。今では3年生が2年生に声をかけたり、2年生が3年生の動きをよく見て動いたり、自然な関わりが生まれています。

Q：先生が思う複式学級の良さとは何ですか？

A：学年を超えた新しい人間関係ができることです。下級生が上級生の姿から学び、上級生がリーダーシップを発揮するようになるのも素晴らしいところですね。

Q：今の2・3年生にも、そんな姿が見られますか？

A：はい、とてもよく出ています！運動会練習の際、3年生は2年生をリードしようと一生懸命に整列を促したり、お手本となる授業態度を示してくれたりしました。2年生もそれに応えようと、3年生の話を真剣に聞いていました。良いところを認め合い、高め合う素敵な姿を見せてくれました。

Q：国語や算数は別々に学んでいますが、様子はいかがですか？

A：単学年でじっくり受けられる授業があることで、子どもたちにも安心感があるようです。どちらの学年も素直に、とても意欲的に学習に取り組んでいます。

Q：他学年（1年や4年）と合同で受ける授業の様子はどうですか？

A：1年生と学ぶ時の2年生は、上級生として張り切って体育の整列などをリードしてくれます。逆に4年生と学ぶ時の3年生は、下級生として少しホッとできる時間であり、上級生から多くのことを学べる貴重な時間になっています。

Q：今、子どもたちがそれぞれ頑張っていることを教えてください。

A：2年生は生活科の野菜のお世話です。毎朝の水やりを欠かさず行い、生長を実感しています。3年生は総合的な学習の時間で「くすのき」について調べ始めました。今は一般的な特徴を調べながら、疑問を見つけてどう解決していくかを学んでいるところです。

Q：今後のクラスづくりの展望を教えてください。

A：まだ低学年ですので失敗することもあります。その失敗をお互いにフォローし合える仲間づくりをしていきたいです。「一つの学級」の仲間として、みんなで支え合って進んでいきます。

異なる学年の仲間と関わることで、お兄さん・お姉さんとしての意識が芽生えたり、お互いに良い刺激を受け合ったりと、複式学級ならではの素敵な成長がたくさん見られます。これからも、子どもたちが安心してのびのびと学べるよう、職員一同でサポートしてまいります。